



IWAKI RYOKUIN JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

SCHOOL GUIDE

男女共学 週6日制 終始一誠・礼容高雅



学校法人
山崎学園

磐城緑蔭中学校・高等学校

IWAKI RYOKUIN JUNIOR & SENIOR High School



IR

IWAKI RYOKUIN JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

2+3+1年 間

中高一貫教育の良いところは、高校入試にとらわれず、人生の中でも大きな関門といえる大学入試に十分な準備期間が取れるところです。これは学習効果だけではなく、思春期の子どもたちの精神面にも大きなゆとりが生まれます。

最初の2年間で中学校の内容を、次の3年間で高校の内容を学習し、最後の1年間で総まとめをする。これが中高一貫校の学習進度のイメージです。本校では、教科によって多少の違いはありますが、右図のような流れで学習を進めていきます。

終始一誠・礼容高雅 磐城緑蔭中学校・高等学校の目指す教育



山崎 学

学校法人山崎学園 理事長
磐城緑蔭中学校・高等学校 校長

M E S S A G E

本校は、磐城緑蔭中学校と磐城緑蔭高等学校の併設による6年間の中高一貫教育を施すことを目的とする学校です。併設型中高一貫校の特色は、中学校から入学するだけでなく、高等学校からも入学することもできるというものです。6年間じっくり学ぶだけでなく、本校のシステムを高校3年間に凝縮した教育も受けることが可能なのです。

本学園は、建学の精神である「終始一誠・礼容高雅」のもと、豊かな人間性を培い、品格のある人物を育成するとともに、学理の研究と独創の工夫に努め、実際に応用の道を講じて、時世の進運に遅れずに進んで広く世界に活動すべき資質を育成することを教育の目標としております。

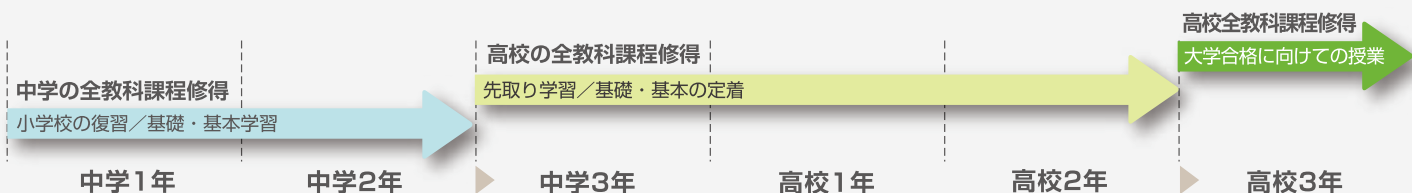


終始一誠・・・人は社会に生きる。その社会で最も大切なのは誠意である。誰もが互いを尊敬し合い、誠意をもって接するという心を涵養する。

礼容高雅・・・服装や態度が立派で人に好感を与えるような高雅な品性の育成に努める。

これらを教育の基本とし、生徒達がやがて厳しい社会を生き抜いていくための力を身につけさせるために、学校としてできる第一のことは「学力」を身につけさせることだと考えています。

6年間の授業の流れ



緑蔭の教員と和田秀樹氏主宰の緑鐵ゼミ（現役東大生講師）による6年間の指導体制

中高一貫のメリットを最大限に生かした教育体制をサポートします。

和田秀樹

精神科医
国際医療福祉大学大学院臨床心理専攻教授
磐城緑蔭中学校・高等学校 校監修

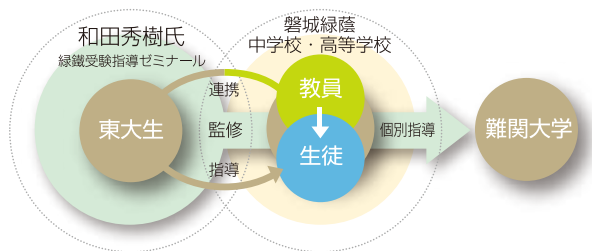


M E S S A G E

将来の厳しい競争社会で勝ち抜く力を身につけるには、中学・高校の教育が重要なポイントです。磐城緑蔭中学校・高等学校では、基礎学力をしっかりとつけて中学校のカリキュラムを先取りし、その後、密度の濃い、高校カリキュラムをじっくり学び、最後の1年間で大学受験に専念した学習を余裕をもって行います。

また、高校から入ってくる人も追いつくことは可能です。私と東大生スタッフが責任をもって受験に有利なカリキュラムを用意しますので、中学から入ると、高校から入る人がお互いに刺激し合い、最終的には、ともに勝利を喜び合って欲しいと思います。

和田秀樹監修・本校との連携体制
現役東大生もサポートします。



本校と緑鐵受験指導のゼミナールのダブルサポート体制

●東大生によるサポート



医学部 医学部 工学部 医学部 経済学部

人生において、実は大学に合格することがゴールではありません。その後、社会に出てどのような活躍ができるかが重要です。本校では、国際社会で通用する、競争力の高い人材を育成することに力をいれています。

また、和田秀樹監修の下、現役東大生によるサポート態勢を整えています。現役東大生ならではの実体験を通じた学習の仕方や、受験問題の傾向と対策などがリアルタイムで伝わります。

Profile

●和田秀樹(わだ ひでき)精神科医。1960年大阪市生まれ。東京大学医学部付属病院精神神経科助手を経て、1991～94年カールメンガー精神医学学校に留学。現在、川崎幸病院精神科コンサルタント、国際医療福祉大学教授、一橋大学経済学部非常勤講師(医療経済学)、心理学をビジネスに応用するシンクタンク「ヒデキ・ワダ・インスティテュート」代表などを務める。「緑鐵受験指導ゼミナール」主宰。

主な著書



他にも多数刊行

緑鐵受験指導ゼミナール(緑鐵ゼミ)とは。

和田秀樹氏主宰の現役東大生による受験の通信指導グループです。

100人以上の現役東大生が在籍し、「和泉式受験勉強法」と呼ばれる受験技法を中学生・高校生連に指導しています。志望校や学力に合ったテキストを指示し、それに対する宿題を課し、その出来具合によって具体的な方策を立て、志望校に導くというシステムです。





中学校の2+1年間



目標を持った多くの仲間達との6年間の始まり。

1
中学1年

新しい仲間とともに中学校生活が始まります。まずは、学校に毎日楽しく登校するためにも、「終始一誠、礼容高雅」という建学の精神を理解し、新しい仲間達と信頼しあえる関係を築くことが必要です。正しい言葉遣い、礼儀など中学生として当たり前の基本的な生活習慣を身に付け、学習の基礎力を定着させるとともに学習の仕方学びます。



■主な運動部

- 硬式テニス
- 陸上
- バレーボール
- 卓球
- ボクシング
- ダンス
- 野球
- サッカー



↑東大見学の様子

S y s t e m

● 磐城緑蔭中学校

→ ● 基礎学力・基本的な生活習慣の定着

● 東大生(緑鐵ゼミ)

→ ● 定期試験対策指南・学習計画表のチェック

● 和田秀樹氏

→ ● 学習の動機づけ

■サポートカリキュラム&本校の特徴

本校の特徴

中学校の学習を始めるにあたっては、小学校の学習がきちんと身につけていなければなりません。その意味では、本校生は小学校の学習内容をまとめて出題される入学試験を突破してきた人たちの集団です。しかし、実際には首都圏などの先進地域の中学1年生と比較すると学力差はとて大きいのです。ですから本校では、首都圏の塾などに通う子どもたちが学習する教材の中から、特に国語と算数に絞って、中学校の学習の基礎となるものを取り出し、学習することから始めます。



高校課程・先取り学習への移行



文武両道、バランスの取れた人間の育成。

2年

中学2年



本校では剣道の授業が3年間必修です。日本の伝統的文化である「武道」の一つ、剣道を習うことにより、礼の仕方、他人を尊重し思いやる道徳心、体力・技術の向上など、日常生活でも必要な社会的態度を身に付けます。学習面では中学内容の数学、英語の大半は終了します。学校生活にも慣れ、充実感を感じるようになります。学年末には修学旅行を行います。

■主な文化部

- 音楽
- 美術
- 科学
- 創作



1 修学旅行の様子

中学3年から高校の教育課程に移行。

3年

中学3年

中学3年間の授業時数が多いために、学校の授業に付いて行くだけで、相当な学習時間が確保されます。従って、中学校用の教科書は2年生までで無理なく終わらせることができるため、高校の教科書へ中学校の段階でスムーズに進むことができるのです。高校の教科書を手にする事で、一足先に高校生になったような意識の高まりを感じ、大学受験を具体的に意識し始めるのです。



JRC (青少年赤十字) 委員会の活動東北で育てた花を、都庁へ送るプロジェクトを行っています。私たちの思いを花にのせて、全国の方々に感謝の気持ちを伝えています。



東大生講師 (緑鐵ゼミ) のアドバイス。先輩代わりの強い見方

先進地域の中高一貫校では、その学校の先輩から後輩に伝わる伝統が、学校の特徴のみならず、学習する雰囲気、具体的な学習法に至るまで存在しています。私たち自身が過ごした中学高校時代の経験を皆さんに伝えながら、皆さんに学習を中心とする具体的な学校生活の送り方をアドバイスします。

- ● 応用力・社会性を身に付ける
- ● 英数先行カリキュラムの進行
- ● 社会の中で生きるために学習する意味を考えさせる

自分の進路目標を具体的に考え
緑蔭高校に進む。

また、中学校においても学年があがるにつれ、学力差が生じてきます。教科によって、習熟度別授業を実施、放課後の補習授業・個別指導などを行い、できる限り個々の生徒の能力を引き出せるよう指導しています。



●50分6校時(週2日)+7校時授業(週3日)+土曜日→週6日制

1週間に37コマの正規授業が組まれています。各教科の学習に必要な授業数を十分に確保。土曜日午前中に授業を設定。

●課外授業(学期中および長期休業中)

学期中には正規の授業の後に課外授業が学年によって週3~5回。長期休業中にも課外授業が設定されます。

●習熟度別授業(英・数・国)

「基礎」「発展」の2コースに分け、それぞれの理解度に応じた授業を展開します。

●個別指導

個別に「緑鐵ゼミ」の東大生から指示された補充用の教材で自学自習を行い、必要に応じ教員が休み時間や放課後を利用して指導を行います。

高校の2年間+1年間



英数先行カリキュラムの充実と「3つの力」の獲得。

4
高校1年
年

中学校から継続して高校の内容の学習を進め、さらなる「学力」の向上を目指します。高校から入学する生徒も、補充指導を受けながら内部進学生とともに学び、学習環境を整えるための良好な人間関係を構築していきます。また、様々な行事の中心的存在として活動することにより、受験だけでなく学校生活を送る上で必要な「体力」「気力」を獲得していきます。



自学自習 (2Fロビー)

2Fロビーは、課外や部活動後の自学自習スペースになっており、わからないところを質問したり、グループで宿題を解いたり、自由に勉強をすることができます。

S y s t e m

- 磐城緑蔭高等学校 → ● 英数先行カリキュラム
- 東大生 (緑鐵ゼミ) → ● 個別の学習進度判断・勉強法の指導
- 和田秀樹氏 → ● 学習の意義の確認

国際交流

いわき市と姉妹都市であるオーストラリア・クイーンズランド州のタウンズビルの高校生と交流をしました。

本校で剣道や書道を体験したり、英語の授業で議論をしたり、お互いの文化の交流を深めました。



個別プログラムの完成



進学目標を明確にし、具体的な対策に入る。

5年

高校2年

将来、希望する職場を視野に入れながら、理系・文系、志望学部・学科まで明確にし対策を行います。東大生講師とともに個々の拡充計画を作り上げ、自分の目標に向かって迷わず集中できる環境の中で学習をしていきます。この高2の過ごし方が大学受験の可否を決する大切なポイントなのです。



ともに学び、それぞれの道へ。

6年

高校3年

東大生講師とより頻りに連携しながら、志望校への合格に向けて迷わず学習を進めます。授業だけではなく、個々の生徒が「自学自習」の態勢を完成し、それぞれの希望に応じた進路の実現を目指します。そして、大学に合格するために全力で立ち向かい、努力していく中で見つけた様々な力が、実社会を生きる力、困難にも果敢に立ち向かう力を培ってくれるのです。



学習指導

本校では、現役東大生とテレビ会議システムを通じた学習指導を月1回行っています。1学年次は学習レベル別指導、2学年次からは主に個別に現役東大生と学習相談を行い、直接悩みなども相談できます。



磐城緑蔭の個別・添削指導

朝、生徒が課題を提出し、教員が添削します。昼休みや下校時に返却・指導をして、生徒の習熟度合った補助プリントや課題により「できる」を積み重ねていきます。

東大生講師（緑鐵ゼミ）のアドバイス…勉強の「やり方」指南！

受験勉強に限らず、学ぶことは孤独なことです。受験勉強に取り組み始めると、自分の学力に対し、不安が生まれます。友達が使った参考書が良く見えたり、他人が行っている塾に自分も行かなくては行けないのではないかという思いに駆られたりと、学習に集中する以前の段階でとまってしまうのです。そこを指南するのが私たちです。

現在の日本の大学の中で、受験科目数・試験のレベルなどを考えたとき、最も効率的な受験勉強を要求されるのが東大の受験です。それを突破してきた「受験の成功者」の経験が、「和田式」の受験勉強法を指導し、実践させていく上で、最大の効果を生むものと考えています。

→ ● 志望校別・個別プログラム始動

→ ● 受験勉強における悩み・不安の解消

→ ● 和田式勉強法の実行

大学進学に
適応する能力を
完成させる。

東大生による指導

各学年とも年間数回ずつ、TV会議システムを利用し、「生放送」で東大生講師の指導・助言を受けたり、生徒が質問したりする時間があります。学年があがるにつれ、全体から個別へと実施方法も変わります。



個別能力強化の最終目的とは

自分で学べる能力を身につける



教員の個別指導・「緑鐵ゼミ」の東大生の学習法指導・精神的バックアップはあくまでもサポートです。主役は学習する皆さんですから、最終的には自学自習できるようにならなくては自立できません。サポートに支えられながら自分でもがき、努力することで目標を達成することこそ本当の意義があり、その後の人生においての大きな糧となるのです。

School life

終始一誠・礼容高雅を校訓に



入学式・始業式



遠足



学習発表会



ポクシング



周辺散策



水泳教室



剣道



駅伝大会



修学旅行(高校)



主な合格実績 平成24~27年度(1~4期生)

【国公立大学】(都道府県順)

北海道大学 東北大学 秋田大学 福島県立医科大学 茨城大学 筑波大学 千葉大学
お茶の水女子大学 横浜市立大学 静岡大学

【私立大学】(50音順)

青山学院大学 岩手医科大学 学習院大学 神奈川大学 関西大学 神田外語大学 北里大学
杏林大学 慶應義塾大学 國學院大学 駒澤大学 芝浦工業大学 成蹊大学 成城大学
専修大学 千葉工業大学 中央大学 津田塾大学 東京女子大学 東京農業大学 東京理科大学
東洋大学 獨協大学 日本大学 日本女子大学 法政大学 松本歯科大学 明海大学 明治大学
明治学院大学 他多数

【文科省管轄外】

防衛大学校

【医歯薬系の学部学科】

福島県立医科大学 岩手医科大学 北里大学 杏林大学 明海大学 松本歯科大学

主な年間行事予定

4月	入学式・始業式・対面式・部紹介・面接週間
5月	周辺散策(中学)・生徒会総会・学校開放週間
6月	東京研修(中学)・遠足(中学・高校)
7月	水泳教室(中学)・修学旅行(高校)・校内競技大会・夏季課外・進路講演会
8月	夏季課外・学習合宿
9月	学習発表会・学校開放週間
10月	防災訓練
11月	校内駅伝大会・校外実習(中学)・面接週間
12月	芸術鑑賞会・ウィンマス・冬季課外
1月	スキー教室
3月	剣道大会(中学)・修学旅行(中学)・学習合宿・春季課外

アクセス

